



ゼロ金利＝資本主義の終焉 !!!

「ゼロ金利とは投資をして利潤をあげる事が出来なくなっている証明。資本主義が機能不全に陥り、死期が近づいている」

日大教授水野和夫氏の「資本主義の終焉と歴史の危機」(集英社新書)は興味深い。

超低金利で

一九七〇年代、私が就職した頃、定期預金金利は六〜七%。企業は高い金利で設備投資し、製品を輸出し、利益を上げていた。

資本主義は生産設備を作ると、新しい市場を求め、かつての英国はアメリカ大陸やインドに。日本は東南アジアに。

しかし、東南アジアの経済が発展すると、もはやかつてのようには日本製品は売れない。今の金利は殆どゼロ。

口。それでも金を借りる会社がない・・・投資しても利益を上げ、耳をそろえて返す見込みが立たないから。

BRICSは

生産力を強力に拡大して来たBRICS(ブラジル、ロシア、インド、中国)が直面している問題は、商品が売るべき後進国がなく、市場がないこと。行き詰まり始めている。

経済成長は必要か？

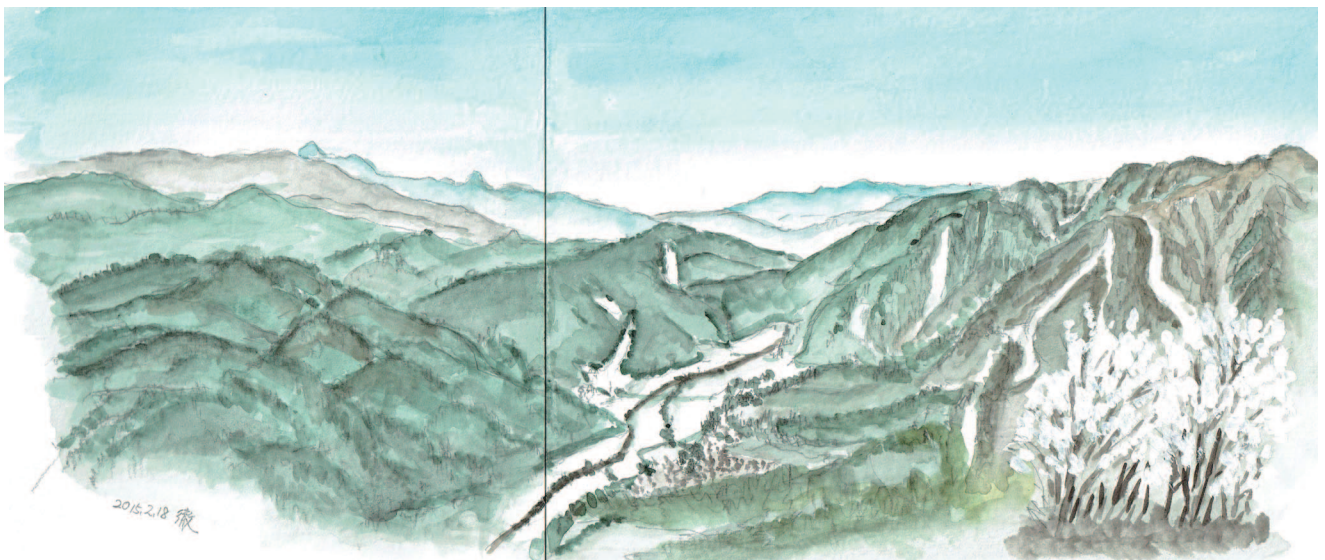
これまで経済がうまくいっているか、どうかの指標は「経済成長率」であった。人口減少のなか「成長する必要はあるのか？」

経済についてのこれまでの考え方を改める時期ではないか？ みなさんはどう思われますか？

姫川の作った盆地

長野県白馬村岩岳から

2016年2月



白馬村の岩岳山頂から南を眺めた。

すぐ右には八方尾根。オリンピックにも使われたスロープが見える。その斜面、くるくる回転しながら滑ればどうということはない。しかし、オリンピック選手は、真っ直ぐに滑るのだ。

遠方に見えるのは南アルプスや中央アルプスだろうか？

目の前に盆地が広がる。パラセイルでも背負って、ゆったりと滑空して雪原の広がる盆地に降りたら、どんなに気持ちが良いだろうかと思う。

盆地の中央をJR大糸線が走り、並行して姫川が流れる。

盆地の先にある山々が、大町市と白馬村の境。そして分水嶺だ。その近くに姫川の源流、親海湿原がある。ジジ通信一九七号で紹介した。